KOIZUMI STEP UP DESK コイズミステップアップデスク

# コイズミ学習デスク　取扱説明書（保証書付き）

WIN-TTI-SU2
**保存用**

⚠ このたびはコイズミ学習家具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ●ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ●事故防止等、安全のため、「使用上の注意」を必ずお守りいただいてご使用ください。
- ●お読みになった後は大切に保存していただき、取扱いのわからないときにお役立てください。

**この取扱説明書のマークについて　SAFETY INFORMATION**

| | |
|---|---|
| 警告<br>WARNING | 説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。<br>A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH. |
| 注意<br>CAUTION | 説明書中の「注意」は障害や物的損害の原因になる危険を示します。<br>A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT. |

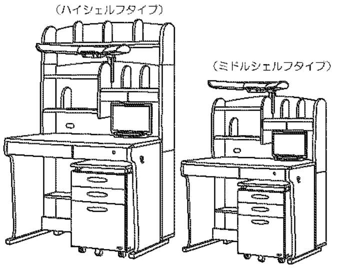
⊘ このマークのついている説明文は必ず守ってください。KEEP THE NOTICE WITH THIS MARK.

⚠ このマークのついている説明文は特に注意してください。BE CAREFUL THE NOTICE WITH THIS MARK.

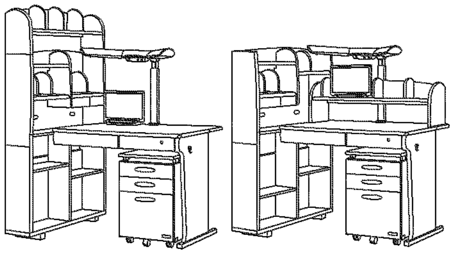
## ■組立ての前に

ステップアップデスクは、STEP1、STEP2、STEP3 と、用途に応じて３種類のスタイルに組立てることができます。どのスタイルにするか決めてから組立ててください。

※イラストは共通化していますので、購入された商品とデザインが異なる場合があります。

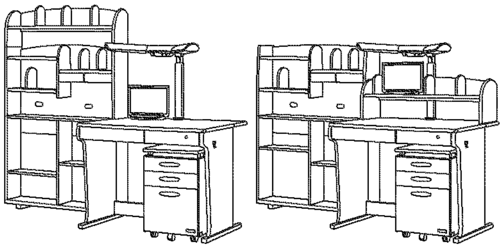

（ハイシェルフタイプ）
（ミドルシェルフタイプ）

**●STEP1**
**（スタンダードタイプ）**



**●STEP2**
**（ユニットデスクタイプ）**
※左右の組替えが可能です。

上棚をデスクの上におろして使用できます。
※ハイシェルフタイプのみ



**●STEP3**
**（セパレートタイプ）**

上棚をデスクの上におろして使用できます。
※ハイシェルフタイプのみ

- ●展示品とお届け品とでは多少木柄や色が違うことがあります。
- ●力の掛かり具合によっては表面に押しキズ、打ちキズ、塗装はげ等を生じることがあります。

| | （ハイシェルフタイプ） | | | | （ミドルシェルフタイプ） |
|---|---|---|---|---|---|
| 品番 | WDS-321 NS | CDM-561 SK | CDM-565 PR | CDM-569 PP | WDR-417 NS |
| | WDS-322 BS | CDM-562 PK | CDM-566 VP | CDM-570 PB | WDR-418 BS |
| | WDM-415 NS | CDM-563 BL | CDM-567 VB | CDM-571 OR | |
| | WDM-416 BS | CDM-564 GR | CDM-568 NB | CDM-572 WH | |

## ⚠ 使用上のご注意

●けが・破損の原因になります。
机や椅子の上に立ったり、飛んだり、踏み台代わりに使ったり、不安定な姿勢で掛けたりしない。
引き出しや引き手の上に乗ったり、扉等にぶら下がったり、無理な力で引っ張ったりしない。
固定用ネジ類がゆるんだまま使用しない。

●やけどの原因になります。
点灯中や消灯直後のランプ及びその周辺をさわらない。

●火災の原因になります。
器具やランプに布、紙等をかぶせたり、近づけたりしない。

●火災、過熱の原因になります。
タコ足配線はしない。

●火災、感電の原因になります。
コンセントや器具に棒等の異物を差し込まない。
電源コードを、無理に曲げたり、ねじったりしない。
差し込みプラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

## 点検と修理が必要なとき

**1 より安全にご使用いただくために次のような異常があったときはお買い上げの販売店にご相談ください。**

- ●コンセントや差し込みプラグが異常に熱いとき
- ●器具接合部のゆるみやコードの損傷があるとき

**2 部品交換の場合は電源コードの差し込みプラグを抜いてから交換をしてください。**

●電流ヒューズの交換　●ランプの交換

⊘器具を改造したり、部品を追加･変更して使用しないでください。
➡火災・感電の原因になります。

**3 取扱説明書どおりに使用されてもまだ不明な点があるときはお買い上げの販売店にご相談ください。**

SA·FU
無断転用を禁ず
(社)日本家具産業振興会
☎03-3261-2805

## コイズミ学習机保証書

**〈無料修理規定〉**

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理**をさせていただきます。
　①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。**
　②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
　③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷
　④消耗品の消耗、又はそれによる故障
　⑤本書のご提示がない場合
　⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き替えた場合
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
4．本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

**＊ご販売店様へ**　必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。
この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

| | | |
|---|---|---|
| 品番 | （デスク引出し内の白いラベルで品番をご確認ください。） | |
| お客様 | お名前 | |
| | ご住所　〒 | |
| | 電話番号（　　）　― | |
| お買い上げ日 | 販売店名･住所･電話番号 | |
| 年　月　日 | | |
| 保証期間（お買い上げ日より） | | |
| 3ヶ年 | | |

（お願い）お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保存してください。

## お客様ご相談窓口

**商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。**

**◆お客様相談室**　コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号　☎06（6658）7382

平成22年現在（所在地、電話番号等については変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）

# 1 シェルフの組立て方法 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

## ■シェルフ付属品 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

梱包名「ハイシェルフ」に同梱されている部品

| A 連結ピン | B 回転金具（大） | C ボルト(M6×35mm) | D 穴埋めキャップ | E ナット用キャップ | F ボルト用キャップ | G 樹脂棚ダボ | H コンセントボックス | C ボルト(M6×35mm) | I 転倒防止金具 | J 上部連結金具セット | ※バックボード Ⓐ | ※バックボード Ⓑ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| LTF9MB605 | LTF9MKN18 | WIN6BU635 | SZC9AC18V<br>(SZC9AC18R)<br><SZCTAC18W> | SZC9DC07V<br>(SZC7DC06R)<br><SZCTDC10W> | SZC7BC60V<br>(SZC9BC61R)<br><SZCTBC61W> | SZCTTD09G | KRE9SW10U | WIN6BU635 | WIN7TN002 | WIN1LK21G<br>WIN7BU615 | ボード：YDC1BP051<br>ベース：WIN7BP67W | ボード：YDC1BP052<br>ベース：WIN7BP67W |
| ハイ×8<br>ミドル×4 | ハイ×8<br>ミドル×4 | ×6 | ×5 | ハイ×5<br>ミドル×1 | ×4 | ×10<br>(※×8) | ×1 | ×1 | 1セット | 1セット | 1セット | 1セット |

※ナット用キャップは、コンセントボックス取付け用ネジ穴にはめ込んでください。ハイタイプの場合、残る4個は上棚を取り外した時に、上台の側板上面のネジ穴にはめ込んでください。

※穴埋めキャップは、コンセントボックス取付け用差し込み穴と、上台固定棚・側板のボルト用貫通穴にはめ込んでください。

※ボルト用キャップは、上台側板に装着済みのボルトと、デスクとシェルフを連結するボルトに取り付けてください。

※樹脂棚ダボの数が8個となるのは、WDS-321NS・WDS-322BS のみとなります。

※「J」上部連結金具セットはミドルシェルフには入っていません。

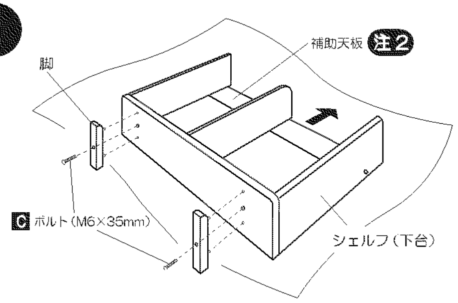
※バックボード Ⓐ：WD シリーズ
※バックボード Ⓑ：CD シリーズ

梱包名「ハイシェルフ棚板」に同梱されている部品

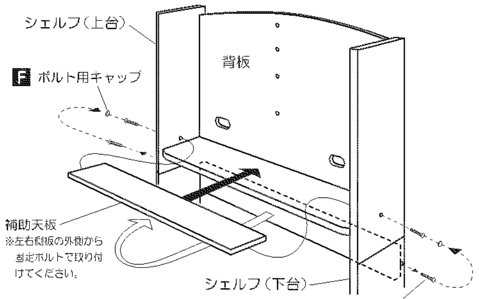
| A 連結ピン | K 回転金具（小） | C ボルト(M6×35mm) |
|---|---|---|
| LTF9MB605 | LTFTMKN15 | WIN6BU635 |
| ×6 | ×6 | ×2 |

※ミドルシェルフタイプ「上棚」がありませんので
これらの部品は入っていません。（注1）

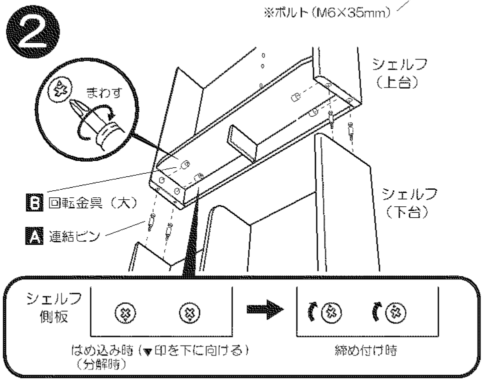
**注1** ミドルシェルフタイプの場合は「上棚」がありませんので④と⑤の組立はありません。

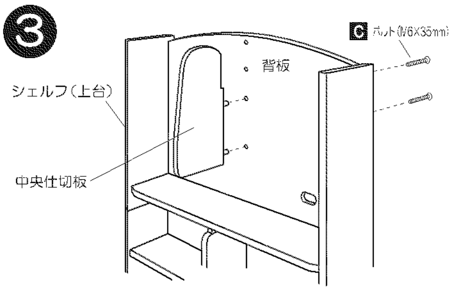

1
脚
補助天板 注2
C ボルト(M6×35mm)
シェルフ（下台）

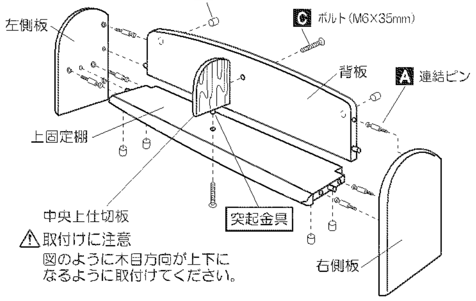
**注2** STEP2(ユニットデスク)に組む場合は、下台の背板上部に固定された補助天板を左右のボルトを外し、そのボルトを使用し下図のように取り付けてください。


シェルフ（上台）
背板
F ボルト用キャップ
補助天板
シェルフ（下台）
※ボルト(M6×35mm)

※左右側板の外側から固定ボルトで取り付けてください。


2
まわす
シェルフ（上台）
シェルフ（下台）
B 回転金具（大）
A 連結ピン
シェルフ側板
はめ込み時（▼印を下に向ける）（分解時）
締め付け時


3
C ボルト(M6×35mm)
背板
シェルフ（上台）
中央仕切板

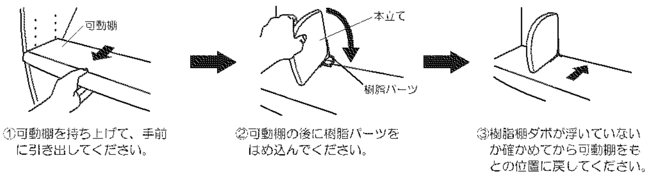

4
注1 ハイタイプ（上棚の組立て）
K 回転金具（小）
C ボルト(M6×35mm)
左側板
背板
A 連結ピン
上固定棚
中央上仕切板
突起金具
右側板

⚠取付けに注意
図のように木目方向が上下になるように取付けてください。

# 2 可動仕切板の取り付け方法 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

### ①可動棚への取付け方法

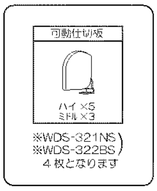
⚠可動仕切板を取付ける際は、可動棚の上に物がのっていないことを確認してください。


可動棚
本立て
樹脂パーツ

①可動棚を持ち上げて、手前に引き出してください。

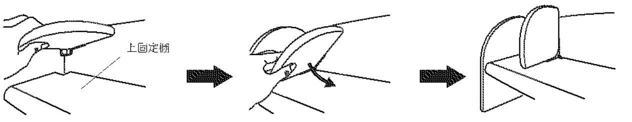
②可動棚の後に樹脂パーツをはめ込んでください。

③樹脂棚ダボが浮いていないか確かめてから可動棚をもとの位置に戻してください。


可動仕切板
ハイ×5
ミドル×3

※WDS-321NS
※WDS-322BS
4枚となります

### ②上固定棚への取付け方法（ハイタイプのみ）



①上固定棚の後角のかきとり部分に樹脂パーツを寝かせた状態で差し込んでください。

②差し込んだ状態で本立てを垂直におこして上固定棚にはめ込んでください。

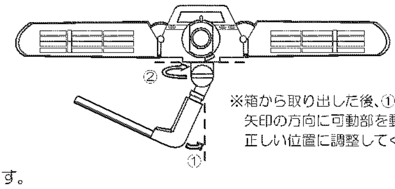
③横にスライドさせて使用してください。

# 3 照明器具の取り付け方法 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

## ■ライト付属品

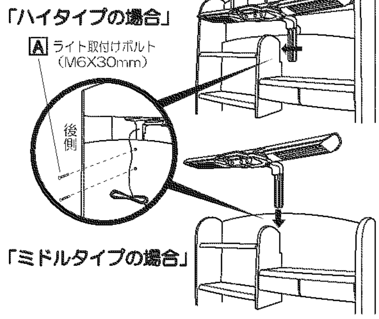
| A ライト取付けボルト | B クランプ取付けボルト | C クランプ |
|---|---|---|
| M6×30（長） | M6×15（短） | |
| ×2 | ×2 | ×1 |

A のボルトは最初から取付けてあり、
B のボルトはクランプの後にテープ止めしてあります。

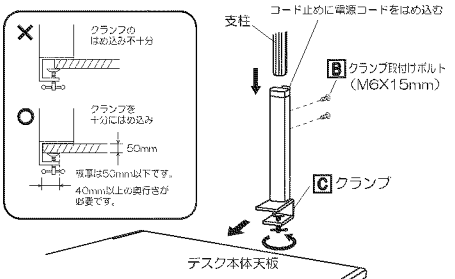


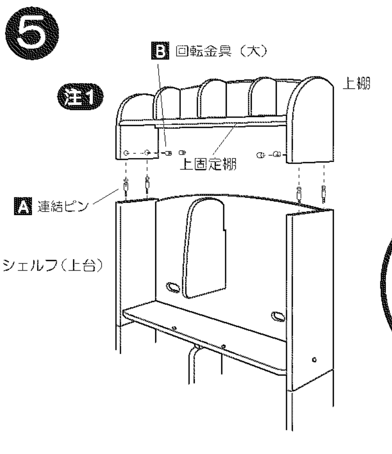
※箱から取り出した後、①②の順で矢印の方向に可動部を動かして、正しい位置に調整してください。

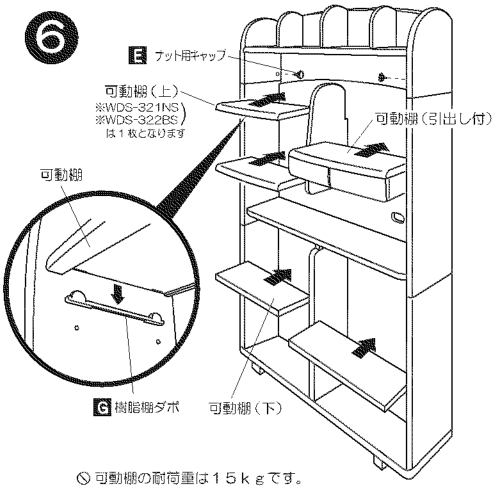
### STEP1 の場合


「ハイタイプの場合」
A ライト取付けボルト (M6X30mm)
後側
「ミドルタイプの場合」

### STEP2、STEP3 の場合


✕
クランプのはめ込み不十分
○
クランプを十分にはめ込み
50mm
板厚は50mm以下です。
40mm以上の奥行きが必要です。
支柱
コード止めに電源コードをはめ込む
B クランプ取付けボルト (M6X15mm)
C クランプ
デスク本体天板


5
B 回転金具（大）
注1
上棚
上固定棚
A 連結ピン
シェルフ（上台）

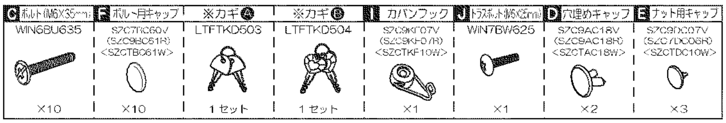

6
E ナット用キャップ
可動棚（上）
※WDS-321NS
※WDS-322BS
は1枚となります
可動棚（引出し付）
可動棚
G 樹脂棚ダボ
可動棚（下）

⦸上固定棚の耐荷重は25kgです。
➡25kg 以上のものをのせると破損や怪我の原因になります。

⦸可動棚の耐荷重は15kgです。
➡15kg 以上のものをのせると破損や怪我の原因になります。

# 4 デスクの組立て方法 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

## ■デスク付属品 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)



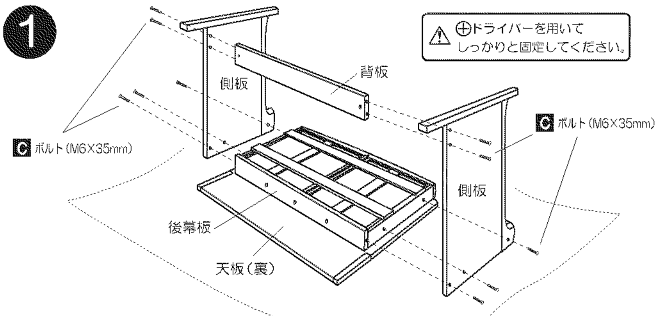
| C ボルト(M6×35mm) | F ボルト用キャップ | ※カギⒶ | ※カギⒷ | I カバンフック | J トラスボルト(M6×25mm) | D 穴埋めキャップ | E ナット用キャップ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| WIN6BU635 | SZC7BC60V<br>(SZC9BC61R)<br><SZCTBC61W> | LTFTKD503 | LTFTKD504 | SZC9KF07V<br>(SZC9KF07R)<br><SZCTKF10W> | WIN7BW625 | SZC9AC18V<br>(SZC9AC18R)<br><SZCTAC18W> | SZC9DC07V<br>(SZC7DC08R)<br><SZCTDC10W> |
| ×10 | ×10 | 1セット | 1セット | ×1 | ×1 | ×2 | ×3 |

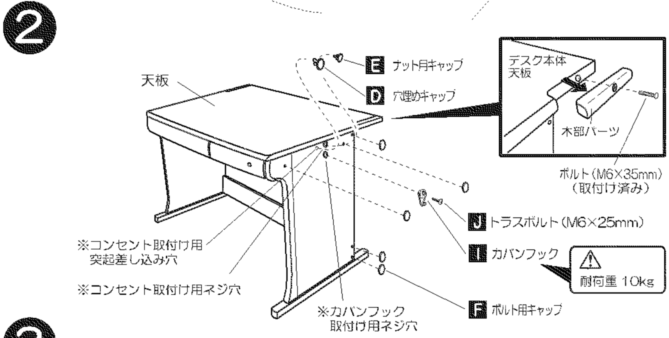
※キャップ類の( )記載記号は商品色がBS色、< >記載記号は商品色がWH色の場合の部品品番となります。
※ナット用キャップは、コンセントボックス取付け用ネジ穴とカバンフック取付け用ネジ穴の片側にはめ込んでください。
※穴埋め用キャップは、コンセントボックス取付け用差し込み穴にはめ込んでください。

**注3** デスクとシェルフとの連結に使用するボルト２本・ボルト用キャップ２個と穴埋めキャップ２個は、シェルフに付属しています。
**注4** 上棚連結金具セットは、シェルフに付属しています。

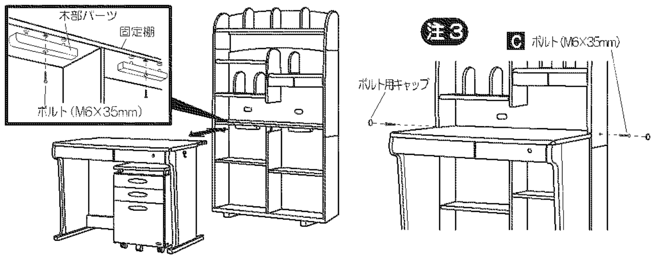
※カギⒶ対象品番：WDS-321NS・WDS-322BS・WDM -415NS・WDM-416BS・WDR-417NS・WDR-418BS CDM-564GR・CDM-567VB・CDM-568NB・CDM-570PB
※カギⒷ対象品番：CDM-561SK・CDM-562PK・CDM-563BL・CDM-565PR・CDM-566VP・CDM-569PP CDM-571OR・CDM-572WH

## STEP1、STEP3の場合

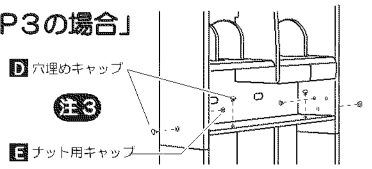

1
⊕ドライバーを用いてしっかりと固定してください。
背板
側板
C ボルト(M6×35mm)
C ボルト(M6×35mm)
側板
後幕板
天板(裏)


2
天板
E ナット用キャップ
D 穴埋めキャップ
デスク本体天板
木部パーツ
ボルト(M6×35mm)(取付け済み)
J トラスボルト(M6×25mm)
I カバンフック
耐荷重 10kg
※コンセント取付け用突起差し込み穴
※コンセント取付け用ネジ穴
※カバンフック取付け用ネジ穴
F ボルト用キャップ

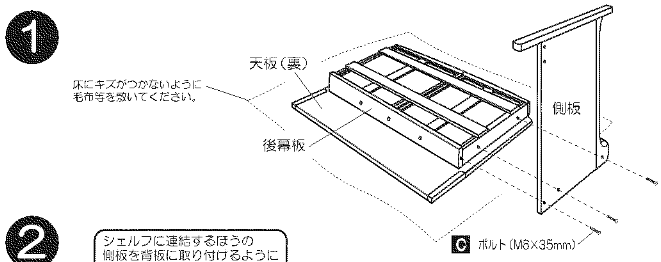
### 3 「STEP1 の場合」

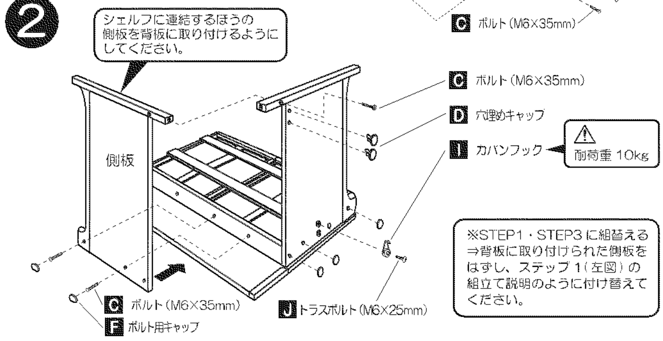

木部パーツ
固定棚
ボルト(M6×35mm)
注3
C ボルト(M6×35mm)
ボルト用キャップ

### 「STEP3の場合」

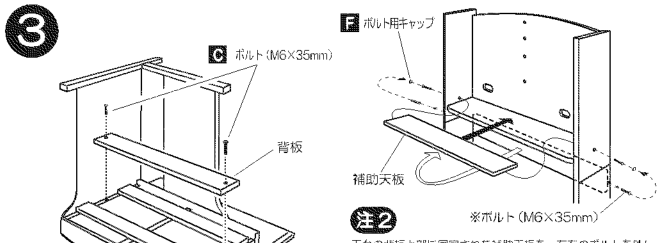

D 穴埋めキャップ
注3
E ナット用キャップ

## STEP2(ユニットデスク)の場合


1
天板(裏)
床にキズがつかないように毛布等を敷いてください。
後幕板
側板
C ボルト(M6×35mm)

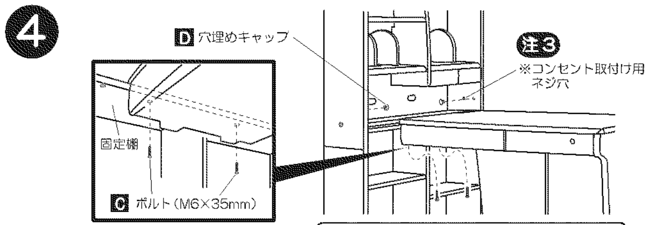

2
シェルフに連結するほうの側板を背板に取り付けるようにしてください。
側板
C ボルト(M6×35mm)
D 穴埋めキャップ
I カバンフック
耐荷重 10kg
C ボルト(M6×35mm)
F ボルト用キャップ
J トラスボルト(M6×25mm)

※STEP1・STEP3 に組替える
⇒背板に取り付けられた側板をはずし、ステップ1(左図)の組立て説明のように付け替えてください。


3
C ボルト(M6×35mm)
背板
F ボルト用キャップ
補助天板
※ボルト(M6×35mm)

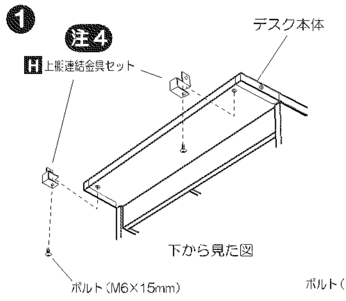
**注2**
下台の背板上部に固定された補助天板を、左右のボルトを外し、そのボルトを使用し、上図のように取り付けてください。

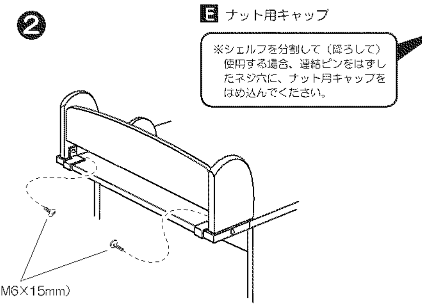
※STEP1・STEP3 に組替える
⇒補助天板をはずし、下台の背板上部に固定してください。


4
D 穴埋めキャップ
注3
※コンセント取付け用ネジ穴
固定棚
C ボルト(M6×35mm)

⚠ STEP2の組立時は、ボルト２本が残ります。

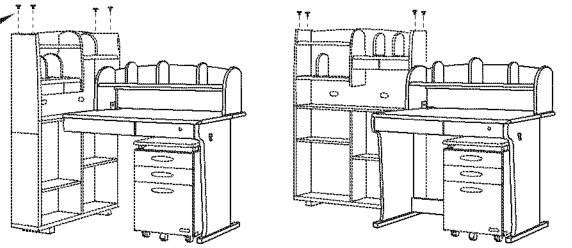
## STEP2 、STEP3の組立て方のとき、ハイシェルフの上棚をデスク天板にのせる場合


1
注4
H 上棚連結金具セット
デスク本体
下から見た図
ボルト(M6×15mm)


2
ボルト(M6×15mm)

E ナット用キャップ

※シェルフを分割して(降ろして)使用する場合、連結ピンをはずしたネジ穴に、ナット用キャップをはめ込んでください。



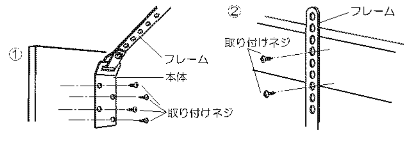
●STEP2
(ユニットデスクタイプ)

●STEP3
(セパレートタイプ)

## ■転倒防止金具の取付け方法

①転倒防止金具(本体)を家具のシェルフ上部に付属のネジ4本にて取付けてください。
※取付け部は18mm以上の厚みで硬い木部を選んでください。
②壁または柱など(木部)、付属のネジ２本が取り付けられるところにフレームの穴をあわせてネジ止めしてください。
※このとき、フレームの長さを任意に位置に合わせてください。

| No. | 部品名 | 数 |
|---|---|---|
| 1 | 転倒防止金具 | 1個 |
| 2 | 取り付けネジ | 6本 |


①
フレーム
本体
取り付けネジ
②
フレーム
取り付けネジ

# 使用方法

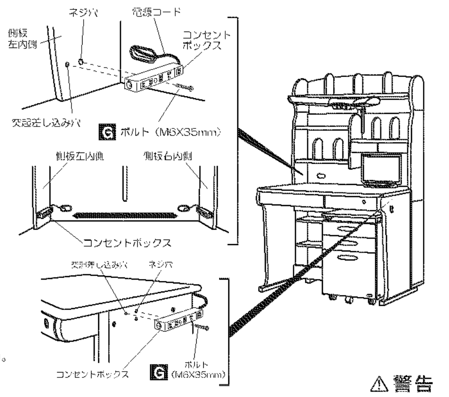
## ■コンセントボックスの使用方法

### （1）シェルフへの取付け方法

①上棚の側板の右内側、または左内側にあるコンセント取り付け用の穴に、コンセント裏面にある突起部を差し込んでください。
②コンセント中央にあるネジ穴に、ボルト（M6X35mm・１本）を差し込み、⊕ドライバーを用いてしっかり固定してください。

⊘ 確実にコンセントを取り付けてください。
➡ 落下により、けが・破損の原因になります。

③電源コードは上棚の背板のコード通し穴を通して、室内の壁コンセントに接続してください。
※コンセントを上棚に取り付ける場合、お好みに応じて上棚の正面の向かって左、または右に取り付けることができます。
※電源コードの差し込みプラグは、必ず壁コンセントから抜いた状態で、取り付け、付けかえを行なってください。


ネジ穴
電源コード
側板
左内側
コンセント
ボックス
突起差し込み穴
G ボルト（M6X35mm）
側板左内側
側板右内側
コンセントボックス
突起差し込み穴
ネジ穴
コンセントボックス
G ボルト
(M6X35mm)

### （2）デスク本体への取付け方法

①本体の側板の右外側、または左外側にあるコンセント取り付け用の穴に、コンセント裏面にある突起部を差し込んでください。
②コンセント中央にあるネジ穴に、ボルト（M6X35mm・１本）を差し込み、⊕ドライバーを用いてしっかり固定してください。

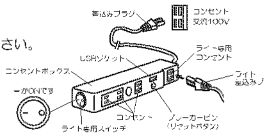
⊘ 確実にコンセントを取り付けてください。
➡ 落下により、けが・破損の原因になります。

※コンセントを本体の側板に取り付ける場合、お好みに応じて本体の左側板、または右側板に取り付けることができます。
※電源コードの差し込みプラグは、必ず壁コンセントから抜いた状態で、取り付け、付けかえを行なってください。

### （3）机のコンセントは4口（ライト専用コンセント含む）で、合計1300ワット(W)までの家電製品が使用できます。

⊘ ご使用の家電製品の定格消費電力のワット（W）数の合計が 1300 ワット（W）以下となることを確かめてからご使用ください。
エアコンや掃除機等のように定格消費電力以外のワット（W）数表示のある家電製品がありますのでご注意ください。
➡ 合計が 1300 ワット (W) を超えた状態でご使用になりますと、ブレーカーがはたらきコンセントが使用できなくなります。

⊘ ライト専用コンセントは、付属のライト以外には絶対に使用しないでください。
➡ 付属のライト以外の家電製品を使用されますと火災・発煙・過熱の原因になります。
机のコンセントで使用できない場合場合は室内の壁コンセントで家電製品をご使用ください。


差込みプラグ
コンセント
交流100V
ライト専用
コンセント
USBソケット
コンセントボックス
ーがONです
ライト
差込みプラグ
コンセント
ブレーカーピン
（リセットボタン）
ライト専用スイッチ

**⚠警告**

⊘このコンセントは固定した状態で使用する様に設計されています。
ボルトを外した状態での使用や延長コードとしてのご使用はおやめください。
➡ コードが早くいたんだり、火災・感電・破損の原因になります。
⊘ネジ類をはずしたり、分解・修理・改造は絶対にしないでください。
➡ 火災・感電の原因になります。
⊘プラグは完全に根元まで差し込んでください。
➡ 不完全ですと、火災、感電の原因になります。

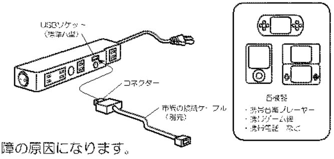
### （4）ブレーカーがはたらいた場合

ブレーカーピンが手前に飛び出します。
①コンセントボックスのすべてのコンセントから電源コードを抜いてください。
②ブレーカーピンを押し込んでください。

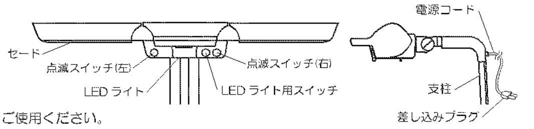
⊘ ご使用の家電製品の定格消費電力のワット（W）数の合計が 1300 ワット（W）を超える場合、その他過電流が流れる場合は、原因を取り除いたうえ、ご使用ください。
エアコンや掃除機等のように定格消費電力以外のワット（W）数表示のある家電製品がありますのでご注意ください。
➡ 原因を取り除かずに、リセット操作を繰り返した場合、発煙・過熱・変形の原因となります。

### （5）コンセントボックスの機能（USB電源ソケット付 ）

USBソケット（標準A型）から、パソコンと同じ直流電流が供給されますので、市販の接続ケーブルを使って、USB端子をもった様々な機器の充電ができます。
①接続ケーブルのコネクターを各機器の充電端子に差し込みます。　※各機種専用の接続ケーブルが市販されています。電気店にてお買い求めください。
②ご使用の機器の接続ケーブルを、コンセントボックスのUSBソケットに差し込みますと充電がはじまります。（DC5V 500mAを出力）
⊘ 差し込み口にゴミやホコリ・金属等の異物が入らないよう十分注意してください。　➡ 感電・焼損・故障の原因になります。
⊘ USB 充電可能機器のご使用に限ります。また、分解・改造は絶対にしないでください。　➡ 充電機能を果さないだけでなく、各充電機器の焼損・過熱・故障の原因になります。


USBソケット
（標準A型）
コネクター
市販の接続ケーブル
（別売）
各機器
・携帯音楽プレーヤー
・携帯ゲーム機
・携帯電話　など

## ■照明器具の使用方法　※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

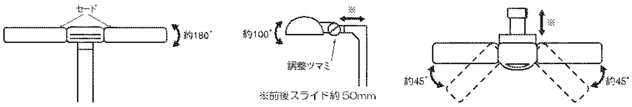

セード
点滅スイッチ(左)
点滅スイッチ(右)
LED ライト
LED ライト用スイッチ
電源コード
支柱
差し込みプラグ

### （1）電源コードの接続

⊘電源コードの差し込みプラグを交流100ボルト(V)のコンセントにしっかり差し込んでください。
➡火災·感電の原因になります。
⊘コンセントの差し込み口がゆるまない状態でご使用ください。
➡ゆるんだままご使用になりますと、火災·過熱の原因になります。ゆるんでいる場合は必ず電気店に点検、修理を受けてからご使用ください。

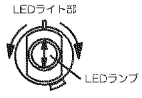
### （2）操作方法

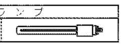
●ライトの動作範囲は、右図のようになっています。
●セードをお好みの角度に調節してください。
⊘ 各部の動きが軽くなったり、セードが下がってきた場合は調整ツマミを右に強く回してください。
●セードは左右両端からそれぞれ約４５゜手前に可動します。
⊘ 各部にストッパーがついていますので無理に回さないでください。
➡ライトの破損や断線を引き起こし、火災·感電の原因になります。


セード
約180°
約100°
※
調整ツマミ
※前後スライド約 50mm
※
約45°
約45°

### （3）ライトの機能（SB-041、SB-043）

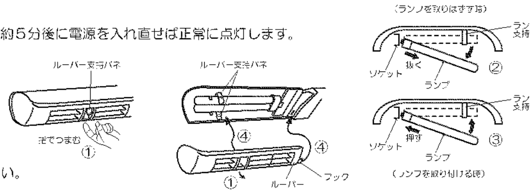
中央部にあるLEDライトは、スイッチの操作によりスポットライトとして点滅が可能です。
また、図のように矢印の方向に動かすか、回転させて照射方向を変えることができます。
⊘ LEDライトに、無理な力を加えないでください。
➡ライトの破損や断線を引き起こし、火災·感電の原因になります。
⊘ 点灯時のLEDランプを直接見ないでください。
➡長時間直視しますと、目の健康を害する恐れがあります。


LEDライト部
LEDランプ

| ライトタイプ | 定格電圧 | 周波数 | 適合ランプ | |
|---|---|---|---|---|
| SB-041、043 ライト | AC 100V | 50Hz / 60Hz<br>共用 | 東芝ネオコンパクト蛍光ランプ<br>EFP12EN X 2本 |  |

### （4）ランプの交換方法（SB-041、SB-043）

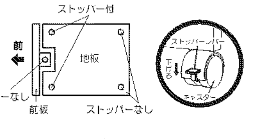
⊘ランプ交換の際は、必ず電源を切って、しばらくしてから行ってください。
➡ 電源を切らないと感電の原因となることがあります。また、点灯中や消灯直後に、ランプおよびランプ周辺をさわると、やけどの原因になります。
⊘ランプは適合したランプを使用してください。(右表参照)
➡ 適合しないランプを使用すると、火災の原因になります。
⊘ランプが寿命になりますと保護回路が働きそのランプは突然消灯しますが、故障ではありません。ランプを交換し約５分後に電源を入れ直せば正常に点灯します。
➡ 一旦両方のスイッチを切ってから電源を入れ直してください。
再点灯しない場合、スイッチ ON・OFF 操作を２・３回行ってください。
①ランプルーバーの支持バネを指でつまみ、ルーバーを矢印の方向に引き出す。
②ランプをランプ支持バネから外し、ソケットから引き抜いてください。
③ランプを右図の要領でソケットに差し込み、ランプ支持バネにはめ込んでください。
⊘ ランプの取付けは丁寧に、根元がカチッとはまるまで確実に差し込んでください。
➡ 破損・落下の原因になります。
④ルーバーを取り付けてください。フックに差し込んでからルーバーが支持バネに引っ掛かるまで押し上げてください。


ルーバー支持バネ
指でつまむ
①
ルーバー支持バネ
④
④
①
ルーバー
フック
（ランプを取りはずす時）
ランプ
支持バネ
ソケット
抜く
ランプ
②
ランプ
支持バネ
ソケット
押す
ランプ
③
（ランプを取り付ける時）

## ■ワゴンの使用方法　※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

### （1）キャスターの取付け・使用方法

①地板の裏にキャスター4個をしっかり差し込んでください。
②下段引出しの下のキャスター取付穴にキャスター（ストッパーなし）1個をしっかり差し込んでください。
●ワゴンはキャスターにより、自由に移動できます。
●移動を止めたい時は、ワゴンの前方両端のキャスターのストッパーレバーを押し下げてください。


ストッパー付
前
地板
ストッパーなし
前板
ストッパーなし
ストッパーレバー
下げる
キャスター

**ワゴン付属部品**

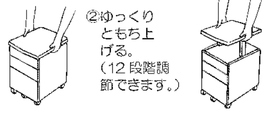
| キャスター（5個入） | ペントレー | 仕切板（下引出し用） |
|---|---|---|
| WIN4WC95G | WIN1PE50G | |
| ×1 セット | ×1 | ×2 |

※キャスター1セットは
ストッパー付が2個
ストッパー無しが3個
となります。

### （2）ワゴン昇降天板　上下操作方法

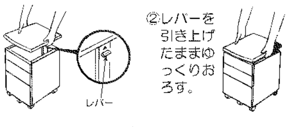
**●天板を上げるとき**

①両手で天板の左右を持つ。
②ゆっくりともち上げる。（12 段階調節できます。）



**●天板を下げるとき**

①両手で天板の左右のレバーを上に引き上げる。
②レバーを引き上げたままゆっくりおろす。



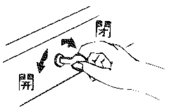
**⚠警告**

●天板には20㎏を超えるものをのせないでください。
➡ けが・破損の原因になります。（天板中央部垂直耐荷重:100kg）
●昇降天板は水平を保つようにして固定してください。
➡ 傾いたまま使っていると、天板の上のものが落ちたりして、けが・破損の原因になります。
●昇降天板の可動操作は、両手でゆっくり確実に行なってください。
➡ むりな力を加えたり固定が不完全ですと、けが・破損の原因になります。
●昇降天板面にものをのせた状態で、天板可動操作はしないでください。
➡ けが・破損の原因になります。
●天板や引出しの上に乗らないでください。
➡ けが・破損の原因になります。
●激しく動かしたり、押して遊んだりしないでください。
➡ 倒れてけがをしたり、他のものをこわしたりする原因になります。
●水平を保つように置いてください。
➡ ガタツキのまま使っていると、引出しの出し入れがスムーズでなかったり、けが・破損の原因になります。

## ■カギの使用方法　※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

●カギを差し込んで、右へ180゜まわすと閉まります。
●カギを差し込んで、左へ180゜まわすと開きます。

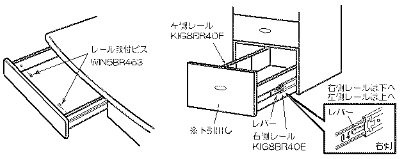
※カギは全機種共通の為、盗難防止の保障はいたしかねます。
⚠カギは最後まで差し込んでから操作してください。また、まわし過ぎないようにしてください。
➡カギや錠前の破損の原因になります。



## ■引き出しの使用方法　※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

<引出しのはずし方>
①金属レール（デスク本体、ワゴン上・中引出し）
●引出しは、内面のレール取付ビス(左・右)２本をはずすと抜き取れます。
②ワゴン下引出し3段引きフルオープン
●レバーを下へ(左側は上へ)押しながら引出しを抜くとはずれます。

<引出し内の耐荷重>
デスク本体引出し…6kg
シェルフ小引出し…1kg
ワゴン上引出し……5kg
ワゴン中引出し……5kg
ワゴン下引出し……20kg


レール取付ビス
WIN5BR463
左側レール
KIG8BR40F
※下引出し
レバー
右側レール
KIG8BR40E
右側レールは下へ
左側レールは上へ
レバー
右側